

研究レポート No.760 岩手県農業研究センター

法面被覆に用いるイブキジャコウソウの効率的な育苗・定植方法

【1 成果の概要】

農地法面の管理作業の省力や景観形成の効果が期待できるイブキジャコウソウ（図1）の効率的な育苗・定植方法は以下のとおりです（図2、3）。

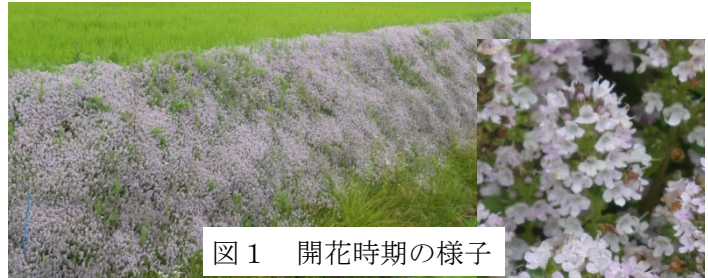



図1 開花時期の様子



挿し穂の採取




挿し木



挿し木

挿し穂は採穂株の先端から長さ4～5cm部分を採取

50穴セルトレイに育苗用培土（ソイルフレッド等）を充填・灌水し、一つのセルに3本挿し木



育苗管理



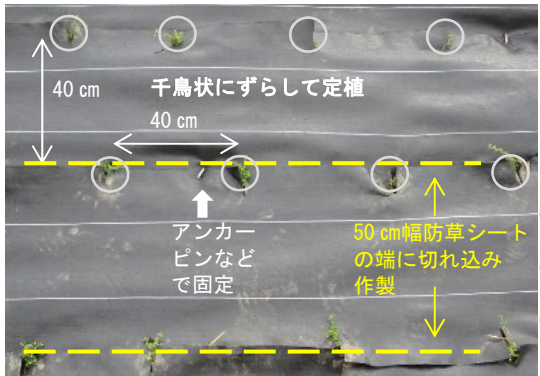
定植時の苗

5.2cm
4.8cm

※育苗の留意点

- ・育苗期間は、ハウス内で3～4週間程度
- ・挿し木後、7～10日間はプール育苗（水深はセルトレイの高さの1/2程度）、その後はプールから出し、頭上灌水
- ・プール育苗期間中は遮光幕等で遮光（40～60%の遮光）
- ・ハウス内の気温は、15～25度を目安に管理


図2 育苗方法



40 cm 千鳥状にずらして定植
40 cm

↑ アンカーピンなどで固定

↑ 50 cm幅防草シートの端に切れ込み作製



①定植準備（定植法面は事前に除草剤により除草を実施）
②防草シート（50 cm幅）を設置、固定
③40 cm千鳥状に防草シートの端に切れ込みを入れ、移植ベラ等で定植

※定植の留意点

- ・50穴セルトレイの苗を使用（100㎡当たり12.5箱必要）
- ・定植前、苗に十分に灌水
- ・定植時に法面への灌水は不要（法面が乾燥している場合はシート設置前に灌水）

※定植後の管理

- ・定植後の灌水、除草は不要

※防草シートの撤去

- ・定植初年目の秋（9月）に撤去、再利用

図3 定植方法

【2 導入コスト】

定植初年目の育苗・定植に必要な導入経費は、労働費を除き、法面面積1a当たり約9,500円です（苗を購入する場合は別途種苗費が必要となります）。